

●会長挨拶

清原地域振興協議会会長 直井重信



清振協は昭和 59 年に「84 とちぎ博」の開催や県立高校の建設・宇都宮テクノポリス新都市重点開発・大学誘致など、大きな課題を抱える中、地域の発展と住みよいまちづくりを推進するため、地区内各団体が一致協力して取り組む母体組織として発足して、その後 62 年から清原工業団地総合管理協会が参加されて名実共に地域一体の組織となりました。

その間、時折々の重要課題に積極的に対応してまいりました。

平成 24 年には、地区内の皆様のアンケート結果を踏まえ、10 年後のあるべき地域の姿を目指して「拠点性の向上」「地域力の向上」「生活環境の向上」を柱とする清原ビジョンを策定し、地域の発展と暮らしやすいまちづくりを実践しておりますが、進捗状況を検証し優先順位を見定めながら取り組んでいきたいと考えております。

至近のトピックとしては、新設小学校の開校が決定したゆいの杜地区は、人口増加が顕著で都市化現象が急速に進展しており、安全・安心な住みよいまちづくり形成の環境整備が喫緊の課題となっております。

また、宇都宮市が目指す公共交通ネットワークの構築は、子どもから高齢者の暮らしの利便性に大きく寄与するもので、LRT の運行と連携した地域内交通の充実整備と公共交通空白、不便地域の解消を図る路線バスの再編成は重要な取り組み課題と認識しております。

これらの事業は、各自治会の皆様のご理解とご協力なくしては推進できないと思っております。

私は清振協設立の原点を再確認して、地域内の各団体の皆様と一体となって清原地域の発展と住みよい町づくりに取り組んでいきたいと考えておりますので、ご支援とご指導をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。